

## 特別 108 「会計不正事例演習【ゼミナール】」実施の流れ

2022 年期的実務補習所カリキュラムの特別講義として第 3 学年を対象に「会計不正事例演習【ゼミナール】」を新設しました。論理的思考能力を文章力とプレゼンテーション能力の両面から養成する対面ならではの演習となっております。既存のゼミナールとは異なる新たな講義形態で実施いたしますので、以下をご確認ください。

### 1. 特別講義「会計不正事例演習【ゼミナール】」概要

学 年 J3 (第 3 学年)

実施形態 ゼミナール (事前レポートに基づくディスカッション形式)

講義内容 具体的な過去の我が国の会計不正事例を題材にして、不正に対する監査人としての対応能力を習得するために、レポートの提出とそれに基づくディスカッションから構成する。

具体的には、以下のとおりである。

- (1) 論理的思考能力を文章力と口頭でのプレゼンテーション能力の両面から養成するため、ディスカッションの実施日前に、当該事例の中に記載されている Case Requirements に対する小レポート (1,000 字以上) を作成し、提出する。なお、小レポートの作成にあたっては、提示されたケーススタディの資料だけでなく、第三者委員会報告書や訂正報告書などの原典にも当たる。
- (2) 小レポート提出後のディスカッションにおいては、提出された各人のレポートを各班の講師と参加者間で共有したうえで、当該課題を中心にディスカッションを行う。そして、ディスカッション終了時に各班で各課題に対する見解(回答)を取りまとめる。
- (3) 最後に、講師(ファシリテーター)が、過去の経験にも触れて、取り扱った会計不正の手口や監査人としての対応に関する総括を行う。

### 2. 受講の流れ

- (1) ケーススタディの内容確認・事前レポートの作成
- (2) 事前レポートの提出
- (3) ゼミナール参加

### 3. ケーススタディ

中央ビルト工業 (補習生用テキスト参照)

### 4. 事前レポートのテーマ

「名古屋工場において会社として定めていた本来、実施することとされていた実地棚卸の手順に対し、実際に行われていた実地棚卸手続の問題点を指摘し、その改善の方法について本ケースに基づいて検討しなさい。」

1. 実際に行われていた実地棚卸手続の問題点を挙げなさい。
2. 問題が発生した原因とその改善方法について、あなたの考えを述べなさい。

## 5. 事前レポート作成と提出の留意事項

### (1) 作成について

- ① 必要字数 1,000 字以上 (Word ファイル左下の文字数でカウントする)
- ② 事前レポート作成用フォーマットを使用して作成すること
- ③ 課題研究ではないので、採点はしない

※文字数は厳守ですので、不足している場合は講義日までに再提出するように各実務補習所・支所の事務局から補習生にお伝えください。

### (2) 提出期限について

補習生はゼミナール実施日の2週間前に提出する。

### (3) 提出方法について※課題研究と同様の方法で補習生には案内します

データ提出は、補習生マイページ(取得単位確認システム)より行います。

登録手順・注意事項につきましては、下記を参照ください。

#### 【提出手順】

- ① 補習生マイページ (取得単位確認システム) へログインする
- ② 画面左「■課題研究提出等」をクリックする
- ③ 提出する回を確認し、所属する班を選択する
- ④ 「提出ファイルの選択」をクリックする
- ⑤ 自身の提出する班を確認し、「参照」より提出する MS ワードファイルを選択する (提出ファイル名:9桁の実務補習生カード番号)
- ⑥ 「提出ファイルの登録」をクリックすることで登録完了となる
- ⑦ 氏名、提出回、実務補習生カード番号が記載された受付完了メールが登録しているアドレスへ送信される
- ⑧ データ登録後、補習生マイページより登録データが確認できるため、必ず確認すること

#### 【注意事項】

- ① 表紙と本論を1つのデータにして登録すること
- ② データを複数回提出した場合は、提出期限までに登録された最後のデータが採用されます

## 6. ゼミナール当日の留意事項

### (1) 持ち物

- ・作成した事前レポート
- ・筆記用具

以 上